

横浜市退職小学校長会



第75号

令和7年8月21日
横浜市退職小学校長会
会長 吉野 誠

ホームページアドレス



巻頭言



「結成六〇周年記念
祝賀会・記念誌と課題」

会長 吉野 誠

「結成六〇周年記念総会・祝賀会」が去る五月二四日、ブリーズベイホテルで行われました。当日は米寿の会員、各事業部長と事業部・地区幹事、県外の方等、多くの会員の皆様と、教育次長石川隆一様はじめ多くの来賓のご臨席を賜り、盛大に祝うことができました。

本会は、校長退職後に「社会貢献と会員の親睦を深めること」を目的として設立されました。記念誌で五〇周年後十年間の活動記録を振り返ると、歴代の役員、幹事の皆様のたゆまぬ努力と会員の皆様の支えによって、多くの実績を残してきました。改めて敬意を表すと共に皆様のご尽力に感謝とお礼を申し上げます。ま

た、記念誌の発行への協力と総会・祝賀会を盛り上げていただいた皆様にも感謝申し上げます。

さて、横浜市の学校現場では、教師のなり手不足が深刻です。コロナ禍の後、急速なデジタル化への対応、子どものいじめ・不登校の増加の問題、保護者とのトラブル報道等の課題もあります。

教育は子ども達一人一人の可能性を引き出す営みです。教師に優れた人材の確保が不可欠です。会員の多くの方が、新任教員のサポートをしたり、現場で子ども達の指導を行ったり「教師は魅力のある仕事だ」と、学校等で支援したりしていることは私たちの社会貢献の一つだと考えています。

記念誌にまとめたように、この十年間の取組は主として

三点ありました。本会の会計・組織の見直し、学校教育活動へのサポート事業の充実、デジタル化（ホームページ作成）への対応です。また、昨年度各事業部は活発に事業を実施、地区集会は十四地区で開催されました。会報やホームページに載せて広報にも努めました。退職者への入会勧誘活動の結果、今年度は新会員・再任用終了会員十七名の方が加入しました。共に活動できることが楽しみです。

今後の課題としては、会員減少に伴って生じた活動資金の不足で、会費値上げを行いました。急激な物価・通信費の値上げなどで、来年度は文書配送を二回に減らさざるを得ない状況があります。他の課題克服に向けても皆様と知恵を出し合い、活動していきたいと思っています。

八十の手習い

佐藤 恭子

古文書読書会に誘われ、未知の世界に興味津々、軽い気持ちで入会したものの余りの難解さに何度も挫折。先生や会員の方々に励まされ何とか一年が過ぎた今、暗号のように思えた変体仮名が少し理解できるようになった。原文が一部分でも読めた時は大きな喜びである。今年からリモート講座も始めた。いつか美術館の展示品の文字が読めるようにと願って「八十の手習い」を楽しんでいる。

上杉鷹山

渡邊 英城

故ジョン・F・ケネディは、最も尊敬する日本人は誰ですかと問われたとき、即座に「それは、ウエスギヨーザンです。」と答えたという。鷹山は17才の時山形県米沢藩の藩主となり、ウルシ、コウゾ、ベニバナなどを栽培させ、農村の自立を助けた。藩の財政再建のための諸施策は、たいへんすぐれたものと言われている。

第四コーナーを楽しく走る

吉川 英達

六十周年記念誌を読んだ。色刷りで写真も多く内容も平易で読みやすい。傘寿を過ぎた人間にも刺激的で楽しい。幹事諸氏の思いや願いが深く心を刺す。強烈な刺激をもらった。そうだ、やめてしまった写真また始めよう。まず海岸散歩の復活だ。絶滅危惧種の保護普及活動、葉山メダカの出前授業に参加しよう。山登りも行けるぞ。そう考えると快適な生活を求めてわくわくしている。自分に気がつく。



書道でめざす笑顔

小笠原 陽子

今日は何をしなくては？と追われ追われの毎日。ポンコツになった身体は次々に訴え、ここ二年毎年手術をしています。退職してからコミュニティハウスの館長を八年、いろいろな教室を楽しみましたが、小学校時代からかかわってきた書道教室を引き継ぎました。今は親子で来ている五組等、25人を越えました。自分は新しい先生にも習い始めました。先生の笑顔と自分の成長をめざすいい毎日です。